

千葉県データ連携基盤共同利用ビジョン

1. 県内の現況

- 千葉県内においては、現在市原市、柏市において主にパーソナルデータを扱うデータ連携基盤（以下、「基盤」という）が運用されており、概要は別紙のとおりである。
- 市原市では、住民サービス、教育、子育ての分野において、主に地域ポイントサービス、学校や学童保育からのお知らせや保護者からの連絡などに活用されている。
- 柏市では、医療（健康管理）、子育て、住民サービスの分野において、主に食事指導や疾病リスク予測、子育て世代向けのスタンプラリー事業などに活用されている。
- その他の多くの市町村では、基盤を活用したサービス提供について具体的な検討は行っておらず、基盤の活用事例等について情報収集等を行っているところである。

2. 共同利用に向けた基本的な方向性

- 全国には様々な分野で既に多数の基盤が整備済みであるため、それらを共同利用することで基盤が活用できる状況にある。
- このため、県や市町村が基盤の活用を図る場合には、まずは全国で先行整備している団体等と基盤を共同利用することによって実現を目指す。

3. 千葉県の取組

- 県としては今後、基盤の活用事例など検討材料の情報収集や、市町村への情報提供による基盤の有用性に対する理解増進、意見交換会の実施、連絡調整等を行う。
- 市町村が、先行整備している団体等と基盤を共同利用しようとする場合には、当該団体等との協議が円滑に進むよう、県として相談窓口となるなどの支援を行う。

4. 考慮事項

- 情報収集に当たっては、活用事例の成果や課題について、利用者の便益にどれほど資するものなのか、定量的な効果はどれほどなのか等について着目し、市町村において具体的な検討を進めやすくできるよう留意する。
- 本ビジョンは、今後の状況変化に合わせて柔軟に見直すものとする。

(別紙) 千葉県内におけるデータ連携基盤の構築状況

自治体名	構築年度	扱うデータの種別	主なサービス提供分野	提供サービス
市原市	令和3年度	パーソナル	住民サービス 教育 子育て	- 行政情報のプッシュ配信 - 回覧板の電子配信 - 地域ポイントサービス - 学校や学童保育との連絡ツール - 図書館利用カード発行のオンライン申請 - 母子健康手帳アプリとの連携による、子供の予防接種予診票の電子提出
柏市	令和2年度	パーソナル	医療（健康管理） 子育て 住民サービス	- フィットネスの提案・記録 - 食事指導 - 疾病リスク予測 - 医療相談 - 健康データの分析・専門的アドバイス提供 - スマホカメラ撮影による医療情報、健康記録のデータ化 - 子育て世代向けスタンプラリー - ベビーシッターマッチング - 住民参加型合意形成プラットフォーム